

# 決算特別委員会 審査概要

平成28年度の一般会計及び特別会計(5会計)の決算が8月31日に市長から提案され、議会は議長及び議会選出監査委員を除く20人の委員で構成する決算特別委員会(委員長・谷田部一之)に付託しました。委員会は、9月22・25・26日の3日間審査を行い、「平成28年度狛江市一般会計決算の認定について」など6会計についていずれも認定しました。  
一般会計決算の主な質疑は以下のとおりです。

## 総括質疑

- ・28年度の経常収支比率について、27年度と比較してどうなったのか。
- ・平成24年度以降、市債残高を5年続けて削減してきたが、今後も同様に削減していいけるのか。
- ・防災行政無線のデジタル化の効果は。
- ・第四次事業化計画の優先整備路線に入っている調布都市計画道路3・4・16号線等の現状は。
- ・平成28年度に将来負担比率が改善された要因は。
- ・狛江市決算審査意見書の時間外勤務についての指摘事項に対してどのように改善するのか。
- ・基金残高を増やし、市債残高を減らすことができた理由と今後の見通しは。
- ・28年度に多くの事業が実施されたが評価と課題は。
- ・防犯カメラの設置状況、運用上の課題や苦情はあったのか。
- ・公共施設における多摩産材の利用状況と今後の方針は。

- ・駐輪場の不足について乗り入れ調査などをした上で何か対策を考えるべきではないか。
- ・児童福祉費のうち扶助費について、類似団体4市と比較するとどのようなことが言えるのか。
- ・市長公約で平成31年度末までに市民1人当たり貯金を1万円増やして借金を1万円減らすということだが、平成31年度末にはどうなるのか。
- ・消費税率が10%になった場合の狛江市の財政への影響は。
- ・新公会計制度について固定資産台帳の整備状況は。
- ・行政提案型市民協働事業としての市民憲章見直し検討委員会との協働による検討内容は。
- ・市民提案型市民協働事業と行政提案型協働事業の提案件数の推移は。
- ・市民活動支援センター開設から1年4カ月たったが、市の認識は。
- ・平成28年度に法人数、法人税に減少が見られる中、個人事業主を増やす取り組みがどのように行われたのか。
- ・空き家を活用して個人事業主

## 平成28年度 会計別決算状況

区分	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引額
一般会計	280億4,419万9千円	267億9,296万8千円	12億5,123万1千円
国民健康保険特別会計	92億5,999万5千円	92億2,577万1千円	3,422万4千円
後期高齢者医療特別会計	18億7,094万5千円	18億5,807万6千円	1,286万9千円
介護保険特別会計	58億3,448万1千円	56億1,168万1千円	2億2,280万円
公共下水道特別会計	21億2,933万3千円	18億4,474万8千円	2億8,458万5千円
駐車場事業特別会計	2,831万3千円	2,812万6千円	18万7千円
合計	471億6,726万6千円	453億6,137万円	18億589万6千円

を誘致することは、法人税増に有効と考えるが、空き家対策を含めて考えられないか。  
・認知症予防事業について、内容と実績、実施事業に歯と認知症を関連づけるものがあったのか。

## 【歳入】

納税相談の中でこまYELLや生活保護の相談に結びついた事例は何件ぐらいあるのか。  
・公立保育園の保育料の徴収率の推移はどうなっているのか。

## 【歳出】

デジタルサイネージの企業広告の募集などはどのような運用なのか。  
・東京都町村総合交付金についてどのような条件で使用できるものなのか。  
・市役所駐車場の有料化に伴う不動産貸付料は幾らなのか。  
・地域福祉計画等の策定に向けて市民意識調査を実施したが、内容及び分析の結果は。

## 【総務費】

狛江市行政不服審査会の委員構成は。  
・ラ・フォル・ジュルネ音楽祭の取り組み状況と課題は。  
・庁舎を維持管理する上で省エネ対策についてはどのように考えているか。  
・市史編さん事業について、現在どのような体制で新狛江市史を編さんしているのか。  
・多摩川流域自治体交流イベントラリーの事業内容は。  
・産業医について常駐頻度及び嘱託職員にも対応しているのか。

## 【民生費】

生活困窮者自立相談支援事業について相談したことにより、どのくらいの方が生活保護や就業につながったか。  
認定ヘルパー養成事業等就労支援の実績は。  
・シルバー人材センター運営費全体は幾らになるのか。  
・行旅死亡者は年間どのくらいの件数だったか。  
・避難行動要支援事業で、車椅子避難補助具を災害時に全ての避難所への配備が必要では。保護司が中心となって実施されたサッカー教室が調布市と合同で開催された経緯や参加人数は。  
・福祉サービス総合支援事業委託について、どのような事業で委託業者はどのくらいなのか。  
・高等職業訓練促進給付金について28年度は7名となっているが、どのような資格を取得したのか。  
・ホームヘルプサービスの申し込みは前もって行う必要があるのか。  
・子育てサイトマップについて、利用者の立場に立って掲載するなど工夫が必要ではないか。  
・保育士等のキャリアアップ補助金の概要と実施状況は。  
・葬祭扶助について、金額、葬儀取扱手順、金銭の流れは。

## 【衛生費】

資源物持ち去り行為禁止条例施行後1年を経過したが、これまでの状況は。  
・使用済小型家電イベント実験回収について、回収品目は。  
・28年度、全てのがん検診で受診率が前年度より下がっているが、要因は。  
・自然保護費で、保存樹木指定の28年度の現状と効果は。

## 【農業費】

防災兼用農業用井戸のPR並びに農地保全に必要な広報活

## 【土木費】

動についてはどのような取り組みを行ったのか。  
・ゲリラ豪雨の際に雨水の集水枘が重要だと考えるが、委託料の経緯は。  
・カーブミラー等の設置について、市民からの要望はどのくらい寄せられているのか。  
・景観まちづくりビジョンを策定した意図と取り組みは。  
・駐輪施設に長期駐輪して引き取りに出来ない自転車の実態把握と対策は。  
・【消防費】  
・迫り来る首都直下地震に対し、管理職が不在だった場合の対応は。  
・今後、被災地支援・被災地自治体支援を行う場合に代理寄附以外の検討はしているのか。  
・【教育費】  
・外国人指導助手(ALT)委託事業について、実績及び今後の取り組み展開と課題は。  
・学校と家庭の支援員事業の成果は。  
・特別支援教育支援員について、資格の有無と研修実施内容は。  
・オリンピック・パラリンピック教育推進について、包括契約を結んでいる企業と連携を図って実施したことは。  
・通学路点検の28年度進捗状況は。  
・中学校給食費について、改善した点や生徒・教員の声などは。  
・KOKOAの運営について、28年度の実施プログラムを通して浮かび上がった課題は。  
・チャレンジデーの取り組み状況は。